



山田光春
議員

議員懇談会（12月3日） の町長発言を撤回せよ

問 2月14日の特別委員会の発言で、

(1)調整前の原水に関して述べたもの。
(2)悪い水を町民に送っていない。
(3)私の発言を憶測・推測で考え、素直に解釈していない。言葉の端くれを取り上げて、ピラ配布され真意を伝えていないのはいかがなものかと批判したが、(イ)町長自身の言葉を読み返して反省と責任を持つべきだ。(ロ)悪い水を送っていないと言い張るが、平成22年11月18日と12月17日の南郷浄水場ろ過器出口でホウ素と蒸発残留物が「水道法による水質基準に適合しない」結果判定が出た。その水を県水と混ぜて送水し、家庭の蛇口から出る水は水質基準をクリアしているから安全な水ですと答弁するが疑問を持つ。(ハ)今後は基準値を超えない井戸水を供給して安心して飲める水を提供するとの決意を聞く。

平岡町長

この機会に申し上げたい

と思います。水道に関する私の特別委員会発言について、ご異論があり、心配をいただいています。そこで、「私は発言のすべてを取り消します。お詫び申し上げます、真意を改めて申し上げますと思います。」

広瀬地区農業振興整備協議会 補助金100万円について

問 22年6月の一般質問で農家を応援するための町農業技術センター

は、専門職を配置し、講習・講座等実施し、農業の生産性を高め、農家が元気になつてもらうため、新規就農者の支援、農地活用による交流の場づくりを目的として、広瀬区に設置すると答弁したが具体的に中身を聞く。

平岡町長 広瀬区役員及び大和広陵

農産物直販所運営協議会と運営方法や設置場所等について協議を進めている。いろいろな農業振興策についても情報収集している。

その他の事項

- 竹取公園の遊具・土砂流出の整備について



地区計画制度の導入について

問 2月23日、馬見南3丁目地区計画が公示され、今回の議会で条例提案されている。他の四地区について

12月中に日程を決める約束だったのに町は約束を守っていない。逆に自治会から逆提案されている状況だ。どうするつもりなのか。町原案を示していない地区についても町が責任をもって進めてほしい。

理事者 日程を設けて進めることは、

この制度に馴染まないが真摯に受け止め対応する。町原案を示めしていない三地区については、自治会役員との協議や共同住宅ゾーン四社に打診するなど対応している。



八尾春雄
議員

地産地消を活かした中学校給食を

問 町内の農産物を活用する方法を

もっと研究する必要がある。町内で調達が困難ならできるだけ近場のものを使ってほしい。また、「自校方式」

と「センター方式」を比較した議論で試算しているのか。北海道岩見沢市で中学校給食が原因と見られる食中毒事件が起きている。一点集中は危ないのではないか。

理事者 すでに町内のハウレン草・小松菜・チンゲンサイを給食に導入している。センター方式と自校方式の試算比較は行っておらず、一般的な受け止めを説明したもの。

国保資格証明書は発行するな

問 国民健康保険運営協議会（2月

10日）で国保税滞納者に資格証明書の発行を考えてはどうかとの話があり、びっくりしている。同証明書の発行は収納対策にならず、受診抑制にしかならぬことはよく知られている。国保は社会保障制度であり、助け合いの制度ではない。国保税の納税がなくても、被保険者証は発行するべきだ。

理事者 昨年3月末で64枚の被保険者証を留め置いているが役場に来られないのが原因だ。納税相談をした

いと考えている。

その他の事項

- 住民協働の町づくりについて
- 北方領土返還要求には北千島を対象に